

介護老人保健施設

ほのぼの苑

だより

発行所
〒018-1401
南秋田郡昭和町大久保字街道下92-1

医療法人 正 和 会
介護老人保健施設
ほのぼの苑

TEL (018) 877-7115
FAX (018) 877-7481
ホームページ
<http://www.seiwakai-akita-nol.or.jp>

編集責任者 加藤 稔樹
発行責任者 小玉 敏央



車いすリレー

第九回ほのぼの苑大運動会が、六月二十七日 日曜日 ほのぼの苑駐車場にて行われました。

運動会の競技種目の一つに「車いすリレー」というものがあり、縄製の輪をバトンの代わりにして、手を使わずに輪を棒から棒へ渡す競技でした。普段の表情とは違う笑顔、張り切って競技に参加する姿を見ることが出来ました。また普段はベッド上での生活が多い方も応援や演奏を聴くためにベッドで会場まで移動しました。参加した方々には運動会を楽しんで頂けたのだと思っています。今回運動会の準備段階から参加させていただき、多くの方のお力をお借りし、無事に運動会を終える事が出来ました。ありがとうございました。



なまはげ太鼓

男鹿つ鼓



私が高
まはげ太
鼓と出会
つたのは
高校時代
です。高
校の文化
祭でなま
はげ太鼓
を聞いた

時、体の内から熱くなるのを感じ、とても感動しました。

その後、ほのぼの苑に入職してから、高校時代のなまはげ太鼓をしていた友人が、色々な人になまはげ太鼓の良さを知ってもらおうと「男鹿つ鼓」というなまはげ太鼓のチームを作った事を聞き、入苑者の方々に私の味わった感動を伝えたいと思い、今回に至りました。

入苑者の方の中には涙を流して喜ぶ方や感動して手拍子する方もいて本当に良かったと思います。耳が聞こえにくい方や目の悪い方にも肌で演奏を感じ取っていただき、満足そうな表情が見られ、私自身も非常に嬉しく思いました。次の機会があるなら、またぜひ演奏していただきたいと思います。

秋田大学

パーカッションアンサンブル



秋田大学パーカッションアンサンブルの方が来苑し、ほのぼの苑大運動会の場で演奏を披露して頂きました。

吹奏楽といえば木管、金管楽器と打楽器

で編成されているものがあるの想像しましたが木琴がメインとなっている演奏のような演奏になるのか楽しみでした

演奏が始まると幻想的な音楽がその場にいた人達を包み込み、その綺麗な音色にしばし時を忘れて耳を傾けていました



医療法人 正和会 健康まつり 開催

七月三十一日(土) 午後二時より

今年のテーマは、

「みんなに元氣と感動を・・・」

遠くで聞こえるまつりのお囃子に胸踊り、ついつい足早になつてしまふ。「どっこいしよ、どっこいしよ」の粋な掛け声と演技者の額いっぱい汗、躍動感。夏の暑い夜に、まつりで食べるかき氷・・・

秋田の夏の風物詩といえば、「竿燈」そして、夏といえば「花火」を思い浮かべます。

入苑されている方達に「間近で見てもらいたい、まつり独特の雰囲気味わってもらいたい、なにより、楽しんでもらいたい」という主旨のもと始まった「健康まつり」も今年で八回目を数えます。

内容は、パワーリハビリ体験、各種健康チェック、介護相談、職員による竿燈演技、体験竿燈、出店、バザー、打ち上げ花火など、盛りだくさんとなっております。来ていただくだけでなく、参加してもらえるイベントと一緒に楽しみ、普段着の職員とのふれあいから親近感を感じて

もらい、入苑されている方達、ご家族の皆様との、さらなる信頼関係を築けたらと思っております。

入苑者ご家族の皆様にも、お越しいただき、職員手作りのまつりを体感していただけたら幸いです。皆様のご来苑を、心よりお待ちしております。

正和会 健康祭り 実行委員長 菅原誠一



今月のほおろオ

「今月のほおろオ」とは介護する上でのアドバイスや知識を、本人はもちろんのこと、ご家族の方にお知らせするコーナーです。

カタカナ用語

介護福祉士 船木 孔

はじめに

高齢化社会と言われ、高齢化が進み、社会状況も変化し、社会福祉制度、社会保障制度等紙面を賑わしていますが、新聞を読んだり、聞いたりしている我々医療福祉従事者でもその変化、用語等わからないことが多いのが実情で、そのような状況で介護に携わる立場として最近気になった用語に注目して皆さんにお伝えしていきたいと思えます。

(I) ケアマネジャー(介護支援専門員)

2000年4月1日よりスタートした介護保険法に伴い資格化されたものですが、その定義は要介護者、要支援者からの相談に応じ、適切な居宅サービス、施設サービスを利用できるように市町村、居宅サービス事業者、介護保険施設等との連絡調整を行う者であります。仕事内容は、多岐にわたる要介護者、家族の希望を取り入れ、医師、看護師、理学療法士・作業療法士、介護従事者等の専門職の協議で、利用者のニーズと生活上の課題解決のための具体的なサービス計画を作成することです。また、相談に乗ったり、施設と家族の橋渡しになったりと、要介護者等の利益のために公平であり、中立性を保ち、人権に配慮し、日々奔走している専門職種です。

(II) バリアフリー

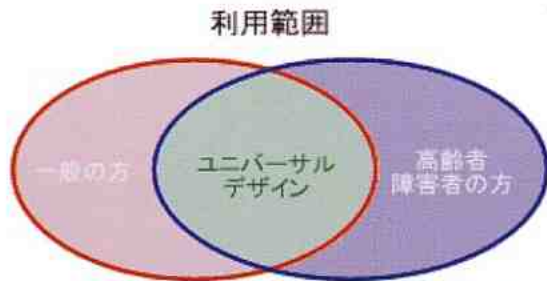
障害のある人が障害のない人と同等に生活し、生活上の制約や社会的な活動への参加の制限となつている環境因子を解決し、さまざまな障害を除去することです。国は4つの障壁撤去を目標に掲げております。①歩道・車両構造・鉄道・施設等の段差など物理的障壁②障害があることを理由とした資格・免許等の付与を制限する制度的障壁③音声案内、点字・手話通訳、文字放送、わかりやすい表示の欠如等による文化・情報面の障壁④心ない言葉や視線、人間としての尊厳を傷つけるような扱い、障害者を庇護されるべき存在としてとらえる等の意識上の障壁。

以上4つの定義がありますが、英語でバリアとは障壁、フリーとは自由、障壁を取り払うと言う意味です。何年か前に西洋人が日本の住宅事情を調査したところ、段差が多いことにびっくりしたそうです。最近の住宅は、以前よりも改善され、そういう部分にも気を配るようになりましたが、われわれ医療・社会福祉従事者も、物理面の障壁には注意を払って介助しています。そして物理面だけに注目がちですが、④の言葉の障壁、つまり日常接して発せられる言葉、暴力的言葉、無視等も含まれます。従事者が現場に携わるにはさまざまなものが要求されます。

(III) ユニバーサルデザイン

福祉用語としても最近出てきておりますが、1980年アメリカ人のロン・メイイスが障害者のために特別なデザインをするのではなく、最初から障壁のない、みんなが利用できる環境を作ろうと提唱しました。1990年初頭より北米で本格的に展開しています。具体的にはバリアフリーの考え方が、物的な障壁除去の場合、建物や段差を改良し、手すりを付けたり、障害者用の福祉機器を改良し、固有の福祉機器を開発するのが中心です。その結果、障害者、高齢者を特別な人々と意識してしまうことになりかねません。バリアフリーの考

え方をさらに発展させて、すべての人々が共通して利用できる環境を目指す考え方で実践が広まっております。具体的には、福祉用具だけではなく、障害者、高齢者等すべての人が使える品、設備構造、食器、車のデザイン等多岐にわたります。バリアフリーの対極、発展させた考え方は、



ユニバーサルデザインは一般の方も利用し、高齢者・障害者の方にも利用しやすいもの

最後に3つの言葉を選び、書いてきましたが、日本の文化は古来より外来のものを取り入れ、融合し、日本独自のものに仕上げる生い立ちがあります。福祉分野も、例えば介護保険制度はドイツに始まり、それに基づき、ドイツとは異なる制度を確立しました。これからも西洋の新しい考え方、理論、制度が入ってくると思えますが、また紙面を通じて紹介できればと思えます。

次回は歩行補助具の杖についてお話しいたします。お楽しみに。

7月の誕生会・行事ご案内

玄関ホールに笹竹を設置し、短冊の飾り付けも始まり、七夕の時期となりました。今月の誕生会は25日(日)午後2時から行います。誕生会では恒例となりましたスライドとスクリーンを使用して誕生者の方々をご紹介いたします。また入苑者の方々に書いていただいた短冊の内容もご覧になっていただければと思います。ご家族の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

7月行事担当職員一同

ほのぼ農園だより

ジャンボかぼちゃ物語Ⅱ

ジャンボかぼちゃを6月4日に育ててから1ヶ月ほどになりました。先月お伝えしたのより3倍近く大きくなっています。順調に成長しているようなので、近いうちに農園の方に移せそうです。

今後も成長過程をお知らせしていきますのでお楽しみに！



ボランティア・慰問・奇贈（平成16年6月）

- ・ なまはげ太鼓 男鹿っ鼓（写真 左）
- ・ 秋田大学パーカッションアンサンブル（写真 右）



ほのぼの掲示板

食中毒について

梅雨の季節となっております。この時期は、食中毒が心配です。入苑されている方々へのお見舞いに食べ物を持参の場合は職員に一言声をかけてください。冷蔵庫に保管し、お渡し致しますのでご協力よろしくお願い致します。

ヘルパー養成講座のお知らせ

当苑は、ヘルパー養成実習のための県認可施設で、本年度は六月二十八日～八月十五日まで実習を行っております。

介護士と共に入苑者様のケアをさせていただきます。ご理解及びご協力をよろしくお願い申し上げます。



幸福

野菜がおいしい季節です。私は、父の畑から最近では春菊、四作豆、新ジャガを収穫させてもらっています。父の自慢は、農薬をほとんど使っていないから体にもいい、味が濃いなどです。

この畑は、祖父が定年後に果樹園をやりたいと購入したのですが、昔は土地があれば何とか食べていける、自給自足出来ると考えたのでしょう。今は父が定年後の趣味の家庭菜園のために活躍しています。私も毎年ホームセンターから苗を購入し、少しだけ植えていましたが、今年は止め、ほのぼ農園にだけ力を注ごうと思います。

もうすぐナスの季節になります。ナスかやき、ナスのごま油炒め、ナス揚げなど祖母がよく作ってくれたシンブルな料理が思い出されます。私もいずれ年を経て、土をいじることが楽しみの生活になる様な気がします。

編集後記

全職員が入苑者及びご家族の方に対する対応方法と言葉遣いについて注意しあっておりますが、適正化委員の加藤委員より嬉しい言葉を賜りました。

面会時、青い制服を着た職員から、入苑しているご家族の方がリハビリに一生懸命取り組んでいて良くなつてきているとのことと声をかけてもらい、その一言が非常に嬉しかったと話されていました。

私たち職員は、利用している方やご家族の方の良かったの一言を仕事の励みとし、今後喜ぶの音が皆様から少しでも聞くことが出来るように一生懸命頑張つて参ります。

なお適正化委員会の委員を募集しております。事務までご連絡頂ければ幸いです。

(カ)